

琴の海

<https://hngc-dosokai.jimdo.com/>

第22号

発行 放送大学長崎同窓会

編集会報編集委員会

発行責任者 高潮昇

2022年5月11日発行



(写真：溝上慶子)

目次

- | | | |
|---------------------------|-------|-------|
| ■ 同窓会会長あいさつ | | 2 |
| ■ 長崎学習センター所長あいさつ | | 3 |
| ■ 活動紹介 | | 4 |
| ・講演会（山本太郎教授・西田孝洋教授） | | |
| ・卒業論文発表会（黒須久美子さん・宮下雅史さん） | | |
| ■ 寄稿 | | 5～12 |
| 岡野道子さん、溝上慶子さん、深堀千恵子さん | | |
| 白仁田聖紀さん、馬場和男・昭代さん、香月やゑ子さん | | |
| ■ 総会資料 | | 13～14 |
| ■ 新会員の紹介・おたより | | 15～16 |
| ■ 長崎点描 | | 17 |
| ■ 編集後記 | | 17 |

同窓会会長 あいさつ

パンデミックと新しい時代の社会変革

長崎同窓会
会長 高潮 昇



同窓会会員の皆様、日頃は同窓会の活動にご支援とご協力を頂き誠にありがとうございます。

ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの中での同窓会活動でありました。同窓会行事の開催方法は、企画段階で対面、リモート（Zoom）またはハイブリッド（対面とリモートの併用）にも対応できるよう時間をかけて準備しました。

初めての試みであるリモート開催では、センター側ホストの技術習得から始まり、参加者への資料送付や研修等を実施し、誰ひとり取り残さないようにしました。

新しい技術を習得したことで講演会や論文発表会等を開催することができました。コロナ禍でも社会変革を先取りし、当初の計画どおり同窓会活動をとおして同窓会会員や在学生の学習支援活動、生涯学習支援活動等を実施することができました。

さて、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが今後どのような形で終息することになるか、現時点で正確に予測することはできません。パンデミックがさらに長引けば私たちが知る世界とは異なる世界の出現を目撃するかもしれません。

感染症の歴史では、14世紀半ば、黒死病と呼ばれたペストは、ヨーロッパで死者は2千5百万人とも3千万人とも推定されている。全人口の4分1から3分の1の命を奪ったとされています。それは社会の構造を大きく変革し、生き残った人々は意識を一偏させ、歴史に残る華麗なるルネサンスを开花させました。スペイン風邪では、1918年から数年で死者が推定5千万人ともいわれ、スペイン風邪の終息は、人々の復興への機運を盛り上げ、1920年代経済の世界的好況の契機となりヨーロッパからアメリカへの覇権の移行を進めた。

今回のパンデミックの影響で政治、経済、社会、文化などのあらゆる分野において、既存のシステムに大きな打撃を与え、社会に混乱と停滞が生じています。このような中で、人々の意識を変え、終息後は被った被害の復興で100年前と同じく2020年代の経済に好況をもたらすことも予想されます。

このように、歴史を紐解けば“パンデミックは、時には社会変革の先駆けとなる”との教訓もあります。今までの価値観がリセットされ、次の新しい時代を拓くトリガー（きっかけ）となります。私たちは、この未曾有の社会的混乱の状況を冷静に観察し、この危機の中で社会の変化への探究心を磨き、未来を見据え、今後進むべき理想を求めると共に、果たしうる変革を後戻りせず実践していくことが重要です。そのためには、アンテナを高くし放送大学で学び続けることも必要です。



長崎学習センター所長 あいさつ

放送大学長崎学習センター30周年記念事業に向けて

長崎学習センター
所長 山下敬彦



放送大学長崎学習センター同窓会におかれましては、ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、本年（2022年）は放送大学長崎学習センターの設置30周年にあたります。当学習センターでは、本年を周年記念の年と定め、記念式典をはじめとした事業を計画しております。また、当学習センターと同窓会及びサークル団体が協同して文化祭を企画しております。その中で、同窓会には中心的な役割を担っていただき、高潮同窓会長には文化祭実行委員会の重役を担っていただいております。

当学習センターは、平成4年（1992年）4月に放送大学「長崎ビデオ学習センター」として、西彼杵郡多良見町（現在諫早市）に設置されました。その後、平成6年（1994年）6月に「長崎地域学習センター」に、平成10年（1998年）4月に「長崎学習センター」に改組されました。平成16年（2004年）4月には、大学施設（総合教育研究棟3階部分）を借用して長崎大学文教キャンパスに移転しました。その後、平成19年（2007年）5月より長崎大学文教キャンパス内の附属図書館との合築棟に移転し、現在に至っています。

前回の20周年の際には、記念式典と文化祭が実施されています。これまで、文化祭は平成22年（2010年）と平成28年（2016年）の2回開催されており、今回は3回目になります。これまでの文化祭では、同窓会及びサークル団体が主体となって企画・運営を担ってきました。今回の文化祭も同様の体制で実施されます。当センターとしてもできる限りの協力を行うつもりです。長崎学習センター及び当センターに所属する学生・卒業生みんなで文化祭を盛り上げていきたいと考えています。同窓会会員の皆様におかれましても積極的なご参加とご協力をお願いいたします。



令和3年度活動紹介

1. 令和3年10月9日（土）に講演会を実施しました。（オンラインにて）

第一部 講師：山本 太郎 長崎大学熱帯医学研究所・教授

演題：コロナの時代 地球環境を考える

第二部 講師：西田 孝洋 長崎大学薬学部長

演題：コロナによる薬学の変化

山本教授：ジンバブエ、アメリカ、ハイチでの長期海外経験を踏まえた社会貢献活動、病はなぜ起こるのか、歴史を動かした病気などについての興味深い講演でした。

西田教授：ウイルスとは何か、侵入・増殖のメカニズム、薬の作用機構、遺伝子治療、薬ができるまでの過程、薬剤師の業務・大学教育などの理解を深めた講演でした。

トピック

講演会をいただいた山本太郎教授が、天皇、皇后両陛下に、新型コロナウイルス禍を踏まえて、感染症の歴史などの説明をされました。

日経新聞 2022.3.1

感染症史の説明受ける
両陛下、長崎大教授から
天皇、皇后両陛下は28日、
皇居・御所で新型コロナウイルス
禍を踏まえ、長崎大
熱帯医学研究所の山本太郎
教授から感染症の歴史など
について説明を受けられ
た。山本教授は、ペストな
どの感染症が当時の社会に
与えた影響について説明し
た。両陛下は1時間余りに
わたり、メモを取りながら
熱心に聞き、時折、質問さ
れたという。

2. 令和4年2月19日（土）に卒業論文発表会を実施しました。（オンラインにて）

第一部 発表者：黒須久美子さん（大学院：生活健康科学プログラム）

修士論文研究テーマ：

「過疎化が深刻な離島における住民主体の見守りネットワークの試み」

第二部 発表者：宮下雅史さん（大学院：人文学プログラム）

修士論文研究テーマ：

「明治期における長崎外国人居留地の運営―地所と貸渡に見る諸問題―」

黒須さん：五島の久賀島（人口300人）にて、見守りが必要な高齢者の安否確認のためITを利用した小規模見守りネットワークを立ち上げた活動の生の声が聴けました。

宮下さん：あまり知られていない、外国人居留地「地所」の配置図や「貸渡」という制度、幕末期から明治期にかけての変遷などについて詳しく学ぶことができました。

3. 長崎同窓会からのおしらせ（お願い）

(1) 同窓会は、卒業生だけではなく、現在学習中の学生も含めた活動をしています。

学生さんも同窓会に誘って、一緒に講演会や論文発表会、文化祭などを楽しみませんか。

(2) 同窓会では、役員が様々な活動を企画運営しています。皆でワイワイと助け合って楽しく活動しています。あなたもご一緒にいかがですか。役員募集中です！（自薦大歓迎）

卒業にあたって振り返る十年

2021年9月卒業（生活と福祉コース）
岡野 道子



この度、同窓会に加入させていただき、感想の要請を受け振り返ってみました。定年退職し先輩から勧められ、2010年2学期に入学、再入学を含めると10年6ヶ月在籍しました。4年半で卒業する目標を立て、必要単位習得の予定でいました。ところが、様子が解るにつれ自分が抱いていた放送大学のイメージと違って、仲間との触れ合いがあり慌てて卒業しなくても楽しみながら学べることに気づきました。その中で、自分にとってはパソコンサークルに所属したことは大きな支えになりました。

現役の際は自分の仕事に関係する部分に自主的にパソコンを利用し、ロータス123(その後Excel)や一太郎を使っていました。その後Windows98, XP、退職頃にセブン、今はテンです。セブンにしてからは一太郎からWordへ切り替え、5年後、再び職場に復帰したら電子化が進んでおり、若い職員はWordを使い、年配職員のみが一太郎使用の状況でした。この時もパソコンサークルで習ったことが実践に役立ちました。

本大学でパソコンサークルを立ち上げられ10年になるそうです。これを発起された先輩の先見の明が素晴らしいです。ご苦勞も多くあったと聞き、中途から7年間所属している自分は感謝です。初めてのon line科目も抵抗なく受講できました。講師のN先生・M先生・T先生方には大変お世話になっています。私のような高齢者の理解度に合わせてくださり、有難いです。ところがコロナでZoom招待となり先生に負担をかけていると思われます。アフターフォローをして頂いても対面にはかなわないと思いました。サークルと言っても講師の先生が不在されると、自分の画面と違う画面が出たら仲間での学びあいが難しかったことも体験済です。Excelでは、世の中にこれを使いこなすことができる人がいることに内容の深さや広がりを知られます。日常で目にする調査票や会計簿等は多くの場合ユーザーの立場で作られていることも解りました。パソコンやスマホの活用で生活を楽しみたいです。若い人には簡単なことでも、サークルで学びあうことで何歳になっても知らないことを知る喜びを味わうことができます。

10年ひと昔と言いますが、電子化が急速に広がり、学ぶ意欲はあっても身体の老化は否めません。私の場合は目の疲労感です。社会参加することが健康寿命を維持できると信じ、地域のボランティア活動や同窓会の一員として参加していこうと思っています。



同窓会に入会し役員に就任しました

2021年9月卒業（心理と教育コース）

溝上 慶子

2021年9月心理と教育コース卒業と同時に同窓会に入会して、12月には役員として承認されました。

出島106号に「2009年最初の入学の時には、他大学を卒業していましたので、放送大学の卒業までは考えていませんでした。2018年6月16日、念願だった日本心理士会から認定心理士の認定を受けました。パソコンサークル活動のために、2019年、編入学し、心理と教育コースを卒業することができました。サークル活動が、私を放送大学に引き留めてくれました」と卒業生メッセージを送っています。

このメッセージにもう少し同窓会入会の経緯を付け加えますと、2012年パソコンサークルが立ち上がった、サークルの講師を務めております。2012年～2015年は、主にWord・PowerPointを担当していました。Word・PowerPointでは作品を作るのに限界があります。2015年2月サークル会員さんに、illustrator・Photoshopで作品を作ってみませんか、と投げかけましたが会員の方々の反応がありません。これまでかと2015年3月に私はパソコンサークル活動から身をひこうと思っていました。それをその当時会長さんをされていた峰さんが、「自分一人でも、illustrator・Photoshopを習ってみたい」といわれました。その一言で私はパソコンサークルに留まったのです。今思えば、耳慣れないillustrator・Photoshopは何ぞやと会員さんが思われたのでしょうか。2015年より今現在皆で、illustrator・Photoshopを使ってラインスタンプ・ラインアニメーション作成、イラスト作成を楽しんでいます。

恩ある峰さんから卒業したら、是非同窓会に入会して、役員にもと言われましたので役員を喜んでお受けいたしました。



学びながら20年あまりが経ちました

2021年9月卒業（心理と教育コース）

名誉学生 深堀 千恵子

生涯学習にと放送大学に入り、もう20年あまりが経ちました。昨年、はからずも名誉学生の栄を受けることができた事は私にとってこの上ない喜びと充実したものでした。

"高い学習意欲を持ち続け・・・"とありましたが、振り返って思う時、興味深い事や楽しい事も数多くあり、これまで学んでこられたように思います。中でも面接授業でいろいろなことを経験させてもらいました。

一番思い出にあるのは、埼玉学習センターの「アメリカ南部巡検」に参加できた事でした。近くの公園で資料を開き、アトランタの成立や発展などについて授業を受けた事。ジョージア大学でアメリカ南部の地域的特性について授業を受け、学生さんから大学構内見学の案内をしてもらった事。南北戦争前の住宅が残る街マディソンでは「風と共に去りぬ」時代の面影を楽しみに訪れた事など。南北戦争後の銃が日本へ売られ幕末の戦いで使われたことを聞いた時は、世の流れを感じました。ケネディー宇宙センター見学では、大きなロケットが天を仰いで並べてあるのを見て感激でした。思いもかけず外国への勉強の機会に出会えて、素晴らしい見聞を深める事ができました。



「自然と環境」では、学んでいくうちにまず天体に興味がわき、宇宙や星に気持ちをさせることが楽しくなりました。沖縄学習センターで、石垣島の天文台に行き望遠鏡を覗けた時は感動しました。九州大学の演習林では、長靴を履いて歩き回って観察したこと。東京まで行った明治神宮は、人工的に作られた樹木の成り立ちや、生育状況の説明をうけて初めて知った事ばかりでした。



佐賀・福岡・大分・鹿児島・広島では特性を生かした授業を受けました。鹿児島のえびの高原の植生の勉強の帰り、新燃岳噴火で上る噴煙を見たこともありました。20年間という長さを実感させられてしまいます。私にとって、サークル活動も人間性を豊かにしてもらったように思います。学友仲間もでき、おかげさまで充実した学生生活を送れていることをとてもありがたく思っています。



放送大学の私

2021年3月卒業（生活と福祉コース）
名誉学生 白仁田 聖紀

同窓会の会長より、貴殿はグランドスラムを習得し名誉学生の称号を得たことで自叙伝を「琴の海の会報誌」に載せたいとの依頼がありペンを執ることにしました。

「自然と環境」の科目で謝辞を読んだがその時の文章を一部踏襲し「放送大学の私」について考えをまとめてみました。

現役のころはサラリーマンで電気メーカーに勤務し、主な仕事内容は非破壊検査で構造物や材料の内部の健全性を検査する仕事や一般的な品質管理の仕事一筋でやってきました。

仕事に対しては人間関係、技術に関する問題等多々ありましたが、特に気になったのは学歴に対す

る会社制度の偏重が大きく学卒（大学卒以上）と高卒以下に対する制度の違いで「出世の違い、給料の違い等などの優遇処置を横目で見ながら定年になりました。

但し世の中を俯瞰してみると一般的に高学歴の人たちが席卷しているのが現実であること認識する必要があると思います。

従って定年後 私自身生涯学習としては教養を身に就けることが必須と思い放送大学に入学することとしました。当大学は入学条件が皆無でたいしたことはないと考えていたところ、単位取得試験には難解な問題もある、その中には追試験で不合格となった科目も有り自分の能力不足で一時は一年間近く休学し今後どうするかと悩んだ時期もありました。（これは関連会社に臨時で勤めていたことで負荷も多かったのもあるが…。）

しかしこれでは気持ちもスッキリしないことで考え直し 皆さんより遅れ「産業と技術」の第一回目卒業ができました、しかしその後は不思議に学習に身が入り生活の一部となり20年掛かってグランドスラムを習得出来ました、これは家内を始め 関係者に感謝する他ありません。

今後も放送大学での学習は人生の一環であり体力が続く限りやっていきたいと思っています。特に最近コロナ禍でオンライン授業が可能となり、自分の時間で学習できるのも私に適していると考えております。

ところで話は変わるが、グランドスラムを習得したことで集大成として自分なりの手記を考えておりましたところ、私の家の庭先に日頃から「ドクダミ草」が群生し引き抜くことで苦勞していたが今回は人工芝を被せて春先に剥がしてみると白根が横に生息しているのが見つかった。



この白根は乾燥させ飲んでみると体に良いのではな

いかと思いつき、方法をインターネットで検索してみたら幾つかの大学の中で、厚かましくも東北大学にトライしてみると、ある教授に快く対応いただきこの薬草の作り方のホームページ知ることができました（教授の話では白根には大きな成分は無いと助言を頂く）。

このドクダミ草は文献等の名称であるが、地方では「トベラ草」（長崎：式見、手熊、や、佐賀県地方）と呼ばれているようで類似はしているが「トベラ草」は違う植物で、ドクダミ草の方が強烈な臭いがするようだ。従って本格的にいろんな地方のものを採集し、図書館やインターネットで薬効を確認してみると昔ながらの方法では葉や茎を乾燥させていろんな効能があることで十薬（便秘、動脈硬化、皮膚病、湿疹等）として親しまれていると知り、成分としては（カルシュウム、リン、カリウム等）あることも知り、アルコール漬け実施することとしました。アルコールは「ホワイトリカ34度、エチルアルコール、ウォッカ等のアルコール濃度を精製水で調整しました、この濃度の違いで成分の違いをパラメータグラフ制作し確認したいと思い前所長の伊東氏、客員教授の西田氏に相談してみると費用が掛かり素人の技術では無理と分かり途方もないことと考え反省しております。

それで私のできることをして、各ドクダミ草をアルコール漬けし1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月以上、の

スパンで抽出しそのエキス濃度の違いを作成したトレンド表からリトマス試験紙でP/H（酸性度、アルカリ性度の比）で知ることが出来ました、また塩分濃度、糖分濃度計を市販から購入し確認してみたが、差異は判らず仕舞いで終わってしまいました。（注、写真では瓶5



本だが実際は7本使った）従って最終処分としては飲み薬とし晩酌に兼ねて飲んでしまいました、残りは自分の顔に塗り続けていたら多少シミが取れたようだ?...。葉や茎はてんぷらにし食べてみたが乙な味がしました。此の文を書いているとき、家内より「残りあと一回分のでんぷらしか出来ないよ。」と言って来た。私としては当初の目的を叶えることができなかったが、昨今薬草を加工したサプリメントが氾濫していますが、皆さんも周りの薬草に関心を持つのも面白いかなと思いますね!!



まさかの日々

2019年3月卒業（人間と文化コース） 馬場 和男

2020年9月卒業（情報コース） 名誉学生 馬場 昭代

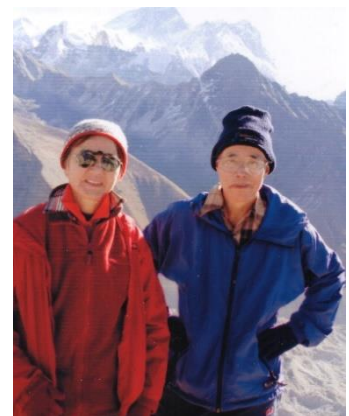
**山へ山へ

結婚式を直前にひかえた休日に長崎市内の岩屋山(約470m)のハイキングにでかけた。若き日の和男の初冬の祖母山山頂での格好いい写真を見た折に、いつか一緒に山へ行きたいと二人共思っていました。

リンゴと水、おにぎりを持って独身最後の山歩きに出かけた。前を歩く和男の長い細身の脚はゆったりと登る。いつも一緒に行く仲間はその歩き方を「エヴェレスト walk」と冷やかすらしい。山頂の夕日はいつまでも美しく知っている「歌」を何時までも歌い続けた。登山口に戻る頃はずっと日暮れていた。玄関に入るや否や私の母は「結婚前の娘をこんなに遅くまで、常識がない!」と怒る。和男は唯々謝っていた。

その後の2人は折に触れ、九州の山歩き、北アルプス連峰への踏破、そこでは仙人のような翁や今でも毎年会っているスケッチの得意な山ガールとの出会いがあった。登山は国内に終わらず、一度でいいからネパールヒマラヤと想いは募りついに4,000~5,000mクラスの山岳トレッキングの虜になっていき実に10回のネパールヒマラヤ行きを数えました。

或る時は砂嵐に遭い、あるときは雪の上にテントが張られ、目を覚ますとテントは雪をかぶって居たり、下界では考えられない「血中酸素濃度」の日であったり。それでも何故か魅かれる山々がある。ご来光を、夕日を、降りそそぐ満天の星空を、甘い空気を、咲き競う山リンドウの花などをプレゼントしてくれる。シェルパ、ポーターの誠実さも感動した。



2007.11.4 エベレストをバックにゴキョピーク(5,520m)登頂

渡航見合わせの紛争の中でも乗り切った。山はネパールヒマラヤにとどまらず北欧のフィヨルドノルウェーの氷河歩き、カナディアンロッキーでの山小屋娘との輪唱、清らかなマウントクックリリーとの出会いのニュージーランドトレッキング、エーデルワイスとマッターホルンと今も友好のある姉妹との出会いのスイス、辿りついたチベットラサの荘厳な寺院では唯々黙し、ブルーポピーの清たしきは忘れられない。

まさかここまで山が魅力あるものだったとは、歩いて登って震えて知った。二人で歩きまわった山また、山がそこにあった。『ありがとう』こだまも『ありがとう』

＊＊テニスコートへ

昭代20代で始めたテニスは40代から仲間入りした和男とのミックスダブルスにエントリーするほどになった。東日本大震災直後の大会では実力もないのに復興支援とばかりに福島夫婦ミックス大会に出かけ大リードの後大逆転され、温かな言葉かけにテニスの技までも教えていただき、懇親会でも長崎からようこそと親睦を深め合いました。

「へぼテニス」との評にも屈せず県外に出かける二人です。テニスコートに立てるだけで健康の証と良く言ったものです。仲間との交流は長崎をはじめ、ラケットに触れる間は・・・との安易なテニススタイルだから今日まで継続しているのでしょう。

＊＊放送大学へ

大学進学を諦めざるをえなかった昭代の高校。長崎県立長崎西高は大学進学熱に燃えていた。何とか方策は無いものかと放課後の教室で悶々とする日々があった。いつかは門を叩こうと「大学」の二文字を頭から消した。悲しかった。寂しかった。諦念を刻んでいった。ふと小学校時代の優しい、美しい先生の声がした。跳び箱を怖がっていた私に「さあ走りなさい勇気と本気があれば越すことができますよ！」

60歳で当然のこのように放送大学へ申し込み今に至っている。入学当初のキャンパスは大草駅近くにあった。のどかな環境であった。たまたま試験の日は大雪。長崎からの電車はめったにない込みようであった。また、帰路にみつけたローカル線の明かりは小高い丘を越えて夕闇に消えていく「長崎の銀河鉄道」そのものであり、後日、宮沢賢治読書会（会長：馬場和男）「グループ銀河鉄道」で鑑賞会を計画し感動であった。大学は4年で卒業するものと猛勉強する。

長崎大学内に移転してからも単位認定試験に挑戦は続きいつの間にか和男の姿もあった。西洋美術資料を初めとする美術関連、人間模様の学習が続き83歳で学位取得を果たした、卒業旅行は北海道へ。美しく広々とした自然へ旅して祝あった。大学のサークル活動（心理研究会）にも二人して属している。

まさか、同窓生になろうとは嬉しいかぎりです。

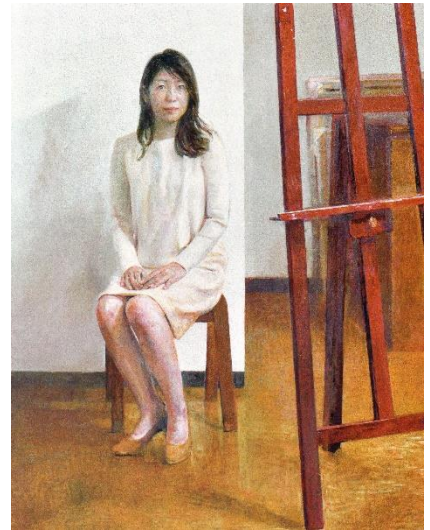
＊＊芸術との出会い

幼いころから母に才能を認められ幼児期の絵さえも保存されていた和男の絵画才能は長崎展、上野の森美術展、更には日展連続入選と目を見張るものである。かつての仕事は機械屋研究所勤め、真実の追求である。そうでないと機械は動かないし世の中さえも動かない真実の美[真実]を追求し続けていたのである。作品への愛着心は計り知れないし、物事を観る感性は研ぎ澄まされている。

【美】の追求が和男の絵です。

二人して南山手の活水方面のスケッチに出かけた。隣り合って描いたが出来栄えは同じところから描いたとは思えない程似て非なるものである。和男の絵は窓からコーラスでも聞こえそうな樹々の間の赤い校舎が描かれている一方、昭代の作品はというと壁は赤、木は緑、空は青と精彩さの全くない出来で今も我が家にのこされている。

中央展（日展中・上野の森展）に入選する度に上京出来ることは至福な時である。全国から応募されている作品は一点一点が重みのある作品であり、会場は晴れやかさの中に緊張が漂っている。このところ連続入選を果たしている和男の絵の前には、山で出会った人、長崎で時を過ごした人、親類縁者の顔がありません。記念撮影後の昼食会では長崎へ帰ることさえ忘れさせる。上京の都度巡る都内の美術館巡りも楽しみの一つである。この度、和男は2022.4.1付にて日展会友に承認されました。



第8回日展(2021) 初春のアトリエ 馬場和男

それに比べると昭代の芸術観はなんだろう？小学校時代の通学路では白壁の塀の中からは決まって澄んだ声が聴こえる。唱歌でもないただ調子よく時には「ポン・ポポン」とこれも澄んだ音なのだ。スキップしながらその家の前を通っていた。

中学時代に国語に古典が加わり能の世界を知った。社会人になって会社の謡曲クラブに誘われるや否や即入部、昼休みの練習がスタートした。先輩方の声はまさしく壁伝いの澄んだ声で新たに感動していった。謡曲クラブは全国大会も催され、国立能楽堂をはじめとして各地の能楽堂舞台の末席で参加してきた。現在90歳を超えられた師匠の響は手の届かない所にあり、ポポン（小鼓）の師匠は能楽舞台や東京芸大でも活躍中である。お二人の師匠には幸いにも和男への声援も送っていただいている。

**二人の共通点

兄弟姉妹の多いことから何かにつけては集う。しばしば団体旅行となるが車にリボンをつけての、或いはマイクロバスにステッカーを貼っての観光である。走る、食べる、飲む、歌う野山へ繰り出すことが多いが、全兄弟夫婦の還暦祝いが写真に残されているのは長兄のおかげであるし、片や100歳で逝った母を偲び今も集う家族もたがい80歳を超えようとしているが、それぞれに、それなりに配慮しながら過ごし、思い出が今日を支えている

私ども二人は共に学び、共に自然を満喫しながらもボランティア活動は続けている。夫婦で球拾いしたバレーボールのチームメンバーの子らは立派な母親となり、当時の保育士仲間との同窓会には子ども連れて参加し、泣き虫だった当時の面影はないたくましさである。県外から理解あるご主人の送迎で来てくれる。もう何年たっただろうか？

つれづれなるままに「二人のこと」の課題に書き連ねました。

【まさか】書くことになろうとは、と思いながら、まさかの結婚、まさかの世界の山旅まさかのミックスタブルスマさかの放送大学生、etc.、そして今まさかの転倒負傷のリハビリ真最中の介護元年の2022年である。

【パソコンサークル】

会長 香月 やゑ子

長崎学習センターパソコンサークルは発足して11年目になります。

コロナ感染防止のためこの2年間はセンターでの活動は規制されてZOOM講義がほとんどでした。ZOOMで講義を受け、課題をメールで提出、添削指導を受けるという制限された活動でしたが、自粛中も課題があるため退屈することは無かった様に思います。

これまで10年間は大学のホームページ(HP)のWAKABAを見られるようになりたいとインターネットやWORDやEXCELを基礎から講師の方々(ともに学生)に教えて頂きました。それだけではサークル活動にならないから理解出来た人はとなりの人にも教え合おうと座席の組み合わせを考えたりして活動を続けました。

5年前にはサークルのHPを作り、個人のHPも立ち上げました。

会員のKさんは熱心で個人のHPを作られました。体調を崩されてもブログはほぼ毎日更新され、亡くなられる1か月程前まで続けられました。またサークルHPを見た愛媛学習センターの学生さんはZOOM講義がある期間限定ですが入会されています。

専門コースではLINEのスタンプやアニメーションスタンプを作り販売もしました。

コロナ禍ではちょっとアドバイスしてもらえば出来そうなのにと思いつつも、教えてもらったり教えたりという和気あいあいの雰囲気にならなかった事は残念です。

今年は規制が緩和されてセンターでのサークル活動が続く事を期待しています。

そして同窓会の皆さんの入会をお待ちしています。センターでの活動になればマイペースで進められ、みんなでサポートします。(WINDOWS、WAKABA、等)

スマホのスキルアップ講座も企画しています。一つでも習得すれば周りの人をビックリさせることが出来るかもしれません。

2022年度会員募集

一般コース：(第1、第3金曜日 10時~12時)

Windows、YouTube、スマホ講座など。10周年記念グッズ作成の完結
秋の文化祭作品企画作成。文化祭ポスター作成。HPのメンテナンスなど。

専門コース：(第2、第4金曜日 13時~15時)

photoshop テキスト教材学習。写真撮影。文化祭作品企画作成。

♥ 新会員には初心者でも簡単にイラスト作成、フォト編集出来るフリーソフトの
Inkscape(イラスト作成) GIMP(フォト編集)を用意しています

新しい事に挑戦したい方はどうぞ
パソコンサークルHPをご覧ください



令和4年度総会資料

第1号議案 令和3年度 放送大学長崎同総会活動報告

月 日	活 動 内 容	参加人員	概 要
2021年 4月4日	学位記授与式、入学式	3名	・会長祝辞 ・受付（新入会員3名）
4月7日	第1回役員会	9名	・総会準備、会報誌「琴の海」編集会議（5）
4月24日	令和3年度総会	15名	・総会 第1会議室 ・参加者15名(コロナの影響で入場制限15名まで)
4月24日	臨時役員会	9名	・会報誌「琴の海」編集会議(6)
5月12日	第2回役員会（コロナ感染拡大で5名のみ参加）	5名	・会報誌「琴の海21号」240部納品 170部発送
5月29日	「第24回 放送大学同窓会連合会通常総会」書面総会 高潮会長リモートで参加		
6月2日	第3回役員会（学習センターの指導で3名まで）	3名	・講演会準備（10月9日開催決定）
7月7日	第4回役員会（リモート開催）	10名	・講演会準備（リモート開催を検討）
8月4日	第5回役員会	9名	・講演会準備（講演会資料の送付方法を検討）
9月1日	第6回役員会（リモート開催）	9名	・講演会準備（案内状、招待状等の送付）
9月26日	学位記授与式・入学式	3名	・会長祝辞 ・受付（新入会員2名）
10月6日	第7回役員会（学習センターの指導で3名まで）	3名	・講演会準備（最終リハーサル）
10月9日	講演会（2題）（リモート開催）	44名	・「コロナの時代 地球環境を考える」 講 師：山本太郎教授
		40名	・「コロナによる薬学の変化」 講 師：西田孝洋教授
11月10日	第8回役員会	10名	・卒業論文発表会(2名)の準備 ・会報誌「琴の海」編集会議（1） ・役員役割分担見直し
12月1日	第9回役員会	10名	・卒業論文発表者2名決定 ・広報活動の準備 ・会報誌「琴の海」編集会議（2）
12月22日	長崎学習センター文化祭第1回実行委員会	4名	・実行委員長に高潮会長が選任されました ・今後のスケジュールについて協議
2022年 1月5日	第10回役員会	7名	・卒業論文発表会の案内状出状等 ・会報誌「琴の海」編集会議（3）
2月2日	第11回役員会（リモート開催）	10名	・論文発表会の最終確認 ・会報誌「琴の海」編集会議（4）
2月19日	卒業研究発表会（リモート開催）	32名	・発表者 黒須久美子さん、宮下雅史さん
3月2日	第12回役員会（リモート開催）	10名	・会計監査・卒入学式準備(同窓会入会を含む) ・総会準備（総会資料・案内状作成等）
3月11日	長崎学習センター文化祭第2回実行委員会	3名	・文化祭開催日、展示物等について協議
年間通して「長崎同総会ホームページ」リニューアル作業			

第4号議案 令和4年度 放送大学 長崎同窓会活動計画

卒業生も、現役学生も含めた放送大学に所縁あるすべての方々が、同窓会活動を通じて、楽しく生き活きと交流し、生涯学習で自己研鑽に励み、社会的貢献などを基本とし、多様で個性的な生き方を尊重し、明日の希望に満ちた人生を謳歌するため、共に同窓会活動に取り組むことを目指しましょう。

- 1、[連携の強化] 次の行事に参加しよう
 - ★ 学位記の授与・入学式、懇談会出席
 - ★ サークル活動への参加
 - ★ ゼミへの参加
 - ★ 客員教授による面接授業・公開講座に参加
- 2、[琴の海] を発行し、会員の意見を反映させよう。
- 3、[講演会]、[論文研究発表会] の開催を同窓会の主要事業と位置付け、会員の取り組む姿勢を高揚させよう。
- 4、[会員増加] 積極的な活動により、魅力的な同窓会を目指し、入会する会員を増やそう。
- 5、[放送大学同窓会連合会]、[九州地区同窓会] との交流を進めよう。

令和4年度活動計画

月	活動計画概要
4	■学位記授与・入学式・懇談会 ■役員会 ■令和4年度・総会
5	■役員会 ■放送大学同窓会連合会「第25回総会」出席 ■「会報誌・琴の海・22号」発行 ■「長崎学習センター開設30周年記念式典・記念講演会」出席
6	■役員会 ■「HP・長崎同窓会」編集会議 ■文化祭（出展、講演会等）打合わせ ■水辺の森公園散策・真向法（健康学習サークル・旅行研究サークルとのコラボ）
7	■単位認定試験
8	■役員会 ■九州・沖縄地区交流会出席（熊本）
9	■役員会 文化祭準備（出展、講演会等） 前期の反省・後期の活動の確認
10	■学位記授与・入学式 ■第3回文化祭（出展、講演会）
11	■役員会 ■長崎学習センター研修会への参加 ■街歩き（健康学習サークル・旅行研究サークルとのコラボ）
12	■役員会 会報「琴の海23号」編集会議 論文研究発表会準備
1	■単位認定試験
2	■役員会 ■論文研究発表会
3	■役員会 令和5年度総会準備 会報「琴の海23号」編集会議

「新会員の紹介」 ご卒業おめでとうございます。

■ 令和2年度後期卒業

伊澤 千佳 さま
土橋 晋作 さま

山田 則子 さま
黒須 久美子 さま

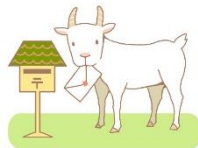


■ 令和3年度前期卒業

溝上 慶子 さま

岡野 道子 さま

お た よ り



※氏名五十音順

稲田 耕一：放送大学で学んで良かったと後期高齢者の仲間入りをする事になってもしみじみ思います。学士4年(主に経済学)と学士2年(認定心理士)ではバス通学。修士2年(環境経営科学)では長崎一羽田便に何度乗ったことか。ゼミでは多くの方々と会話を重ね、夢の様なひと時だった。今学んでいる方々もきっと、放送大学で学んで良かったと歳を重ねる毎に思い、日常でも学びが役に立つ事に驚くことでしょう。学びは自分を青春時代に導いてくれた様に思います。

今泉 利信：当初は妻と一緒に健康体操に参加する予定でしたが、コロナが急激に拡大しているために今回は残念ながら不参加とさせていただきます。今後も参加する機会があればぜひ出席させていただきたいとおもいます。よろしくお願いいたします。

永川 元子：新春を迎え皆様方には益々ご壮健のことと存じます。さて、同窓会での論文発表会と健康体操など大変興味深く楽しみにしておりましたが支障ができ、参加できなくなり、大変残念です。次回を楽しみにしております!!

岡野 道子：記入時は1月ですが、オミクロン株の広がりによって、動向が気になります。

柿山 春美：コロナ禍が続く、皆様お変わりはありませんか？2022年は落ちつくと思っておりましたが まだまだ 試練の毎日のようです。去年は対馬と壱岐に行ってきました。観光客も少なく、業界は大変なようでした。世の中が早く日常をとりもどせるように祈る毎日です。

片山 廣子：今年の3月で定年を迎えます。4月からは再任用で仕事を続けます。時間との戦いが続きますので、参加できず申し訳ありません。

小吉 隆：84才になりましたが元気でおります。庭を畑にして、玉ねぎ150本を植え付け、農業のまねごとに精出しています。



佐藤 一誠：卒後健康には気を付けていたのですが心臓の病気で手術を受け。早10年が経過しました、術後回復に専念する今日!! 自分なりの「健康管理に、しっかり食べて元気に生きる」(do rehabilitation at home) 日々健康に気をつけて生活しております。

土橋 晋作：今年度より教養学部「情報」コースに再入学し、新たな学びを実施しています。放送大学エキスパート（アジア研究）が取得できるみこみとなりました。

中嶋 幾美：放送大学に入学して20年になりました。60才で定年退職後70才まで仕事と、放送大学の勉強をしながら、現役中にもまして海外出張も多く本当に目まぐるしく10年間でようやく卒業の単位が取れました。それから10年、今は午前中放送大学の放送科目を聴講し、水曜日、木曜日は午後2時間ばかりテニスクラブで練習し、土曜日の午後は若者たちと柔道で汗を流しています。最近怪我も多くここ2～3年で骨折を3回しました。



長友 アヤ子：何時も御案内いただきましてありがとうございます。

今回も出席できず申し訳ございません。皆様のご多幸とご健勝、心より祈念致します。

原口 俊彦：2021年度2学期に3度目の入学で「心理と教育」を学んでいます。昨年3度目の退職をしてフリーになり、あれもしたいこれもしたいといろいろ首を突っ込みかけたのですが、如何せん予定が二重三重にバッティングすることがあり、中途半端な状態です。身体と頭脳は少しずつ衰えていくのは仕方ないとしても、心だけはいつまでも子供のように好奇心を失わずにいたいと思っています。

深堀 三八子：卒業論文発表ぜひ聞かせて頂きたかったのですが、参加することが出来ず残念です。

松田 容子：御案内ありがとうございます。また、コロナが流行しはじめて職場等へ迷惑をかけては、と心配になりました。論文発表者の方々、頑張られて下さい

村里 保亮：オミクロンの感染が広がってからは以前よりも外出頻度が減り手指消毒やマスク着用等の基本対策をさらに徹底しています。去年は感染状況等を踏まえ資格試験の受験を断念したため、今年の試験に向けた学習を進めています。

和田 貞夫：3回目モデルナ接種を終えほっと一息ついています。引き続きマスク着用、密接を避け、手指消毒に気をつけます。



訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。心よりご冥福をお祈りいたします。

- ・坂田 治雄 さま
- ・鈴木 萬次郎 さま
- ・茶谷 好晴 さま



長崎点描



(写真：原口俊彦)

編集 後記

令和3年度はコロナも落ち着くかと思いきや、相次ぐ変異株の出現で、相変わらずのマスクと、会合や飲食自粛の日々でした。楽しみにしていた面接授業やゼミも殆どZoom活用でした。研修旅行も中止となり、同窓会主催の講演会や論文発表会もZoomでしたね。これまでの「普通」のありがたさ、大切さを再認識するとともに、インターネット活用の利点も取り入れ、新たな生活行動環境が構築されていくのでしょうか。（原口）

- 平成27（2015）年に、HPを開設しました。

<https://hngc-dosokai.jimdo.com/> 放送大学長崎同窓会

検索

長崎同窓会会報誌
発行者
発行責任者
編集委員

『琴の海・第22号』 令和4年5月11日 発行

放送大学長崎同窓会

高潮昇

田浦幸勝 中嶋幾美 峰昭子 和田貞雄

佐藤まゆみ 石丸栄子 林愛華 田中富子

岡野道子 溝上慶子 原口俊彦